



AMEDにおける医療機器開発支援事業について

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
産学連携部

2017年12月20日

オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト

日本医療研究開発機構対象経費
平成29年度予算額 142億円(一部再掲)

医療機器促進法に基づく医療機器基本計画を着実に実行するため、また医工連携による医療機器開発を促進すべく、AMEDを通じて、各省・専門支援機関(産総研、医療機器センター等)・地域支援機関・医療機関・学会等の連携による開発支援体制(医療機器開発支援ネットワーク)を強化し、我が国の高い技術力を生かし、医療機器の開発・事業化を加速。また、医療機器の承認審査の迅速化に向けた取組や、事業化人材・伴走コンサル人材の育成、国際標準化、知財強化を進める。

フェーズ

基礎研究

応用研究

非臨床

臨床研究・治験

実用化

文科省

①医療分野研究成果展開事業

平成29年度予算額 18.3億円(事業全体)

先端計測分析技術・機器開発プログラム

平成29年度予算額 43.8億円

日本発、国際競争力の高い機器開発

②未来医療を実現する医療機器・システム 研究開発事業

経産省

平成29年度予算額 34.5億円

中小企業のものづくり技術の活用

③医工連携事業化推進事業

厚労省

平成29年度予算額 12.2億円

臨床研究・医師主導治験

④医療機器開発推進研究事業

実用化(市販・医療現場への普及等)

【注】本委員会に関する医療機器関係の主要なプロジェクトのみ抜粋

医療機器開発を支援する主要な事業



事業	研究対象
<p>① 先端計測分析技術・機器開発プログラム(文部科学省)</p>	<p>革新度の高い「技術シーズ」を核とした医療機器開発を目指した新しい測定・診断・治療に関わる原理の実証、プロトタイプ機の性能実証</p>
<p>② 未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業(経済産業省)</p>	<p>ロボット技術、IT等を応用して低侵襲の治療装置や早期に疾患を発見する診断装置など、医療現場のニーズに応えた、日本発の国際競争力の高い医療機器・システムを開発実用化</p>
<p>③ 医工連携事業化推進事業(経済産業省)</p>	<p>高度なものづくり技術を有する中小企業・ベンチャー等の医療機器分野への新規参入や、医療現場のニーズに応える医療機器の開発・事業化のための研究開発(医療費削減や市場拡大に資する研究開発)</p>
<p>④ 医療機器開発推進事業(厚生労働省)</p>	<p>革新的な医療機器の医薬品医療機器法の承認につなげるための臨床研究、医師主導治験</p>

